様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和２年６月３０日

愛 知 県 知 事　殿

提出者

住 所　東京都港区虎ノ門二丁目１０番４号

氏 名　日本コーンスターチ株式会社

代表取締役社長　倉地　聡一郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5570-7000

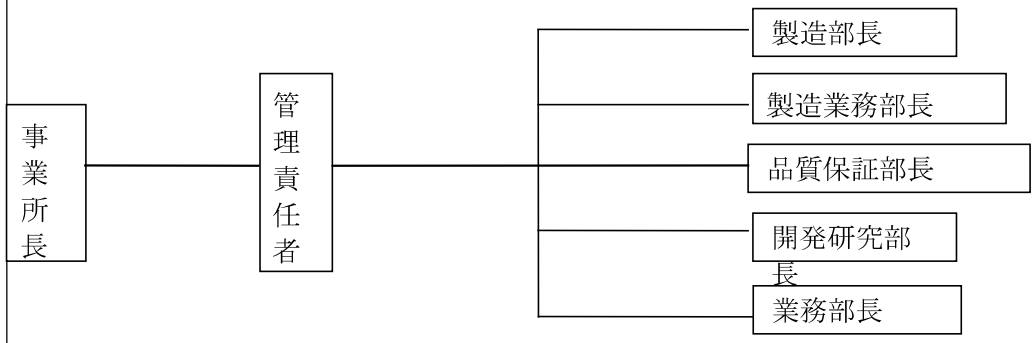
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	日本コーンスターチ株式会社
事業場の所在 地	愛知県碧南市玉津浦１番地
計画期　間	令和２年４月１日～令和３年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1　事業の種 類	食料品製造業
2　事業の規 模	製造品出荷額　50,000 百万円／年
3　従業員 数	267 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	濾過工程により洗浄水と共に、汚泥（濾過助剤）が発生します。

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1　現状	【前年度（　　令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（濾過助剤）	
	排出　量	1224　t	t
	（これまでに実施した取組） ・工程改善による廃棄物自体の発生量の抑制 ・新しい製造工場の稼働による製造調整		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（濾過助剤）	
	排出　量	1200　t	t
	（今後実施する予定の取組） ・工程改善による排出量の低減に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・他の廃棄物が混入しリサイクルに支障をきたさないよう分別を徹底している。
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・全量分別実施

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td></td><td>1　現状</td><td colspan="2">【前年度（　令和元年度）実績】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（濾過助剤）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（濾過助剤）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td></td><td>1　現状</td><td colspan="2">【前年度（　令和元年度）実績】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（濾過助剤）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥（濾過助剤）	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組）		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	1　現状	【前年度（　令和元年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥（濾過助剤）	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
		（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥（濾過助剤）	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） ・実施の予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	1　現状	【前年度（　令和元年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥（濾過助剤）	
		全処理委託量	1224 t	t
		優良認定処理業者への	1153 t	t

			処理委託 量		
			再生利用業者への 処理委託 量	71 t	t
			認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		（これまでに実施した取組） ・汚泥をセメント原料及び肥料用原料として 100 %再生利用しており現状を維持する。			

（第５面）

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		汚泥（濾過助剤）	
		全処理委託 量		1200 t	t
			優良認定処理業者への処理委託 量	1100 t	t
			再生利用業者への 処理委託 量	100 t	t
			認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t

		（今後実施する予定の取組） ・再生利用先としてセメント会社および肥料会社と契約しており安定利用先として今後も維持する。
※事務処理欄		